

# 会 議 録

会議録	令和4年度 第2回 豊田市公共交通会議
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>【協議案件】</p> <p>(1) とよたおいでんバスのバス停移設及び路線の新設・廃止について 藤岡・豊田線（加納経由）</p> <p>(2) とよたおいでんバス 期間限定系統の新設等について</p> <p>①さなげ・足助線</p> <p>②稲武・足助線</p> <p>③旭・足助線</p> <p>【報告案件】</p> <p>(1) とよたおいでんバス期間限定系統の新設等の実施結果について</p> <p>(2) 藤岡地域バスのバス停移設について</p> <p>(3) 稲武地域バスの予約受付時間の変更について</p> <p>(4) (仮称) 豊田市地域公共交通計画の策定について</p> <p>(5) 豊田市駅東口駅前広場実証実験について</p> <p>(6) 新型コロナウイルス感染拡大に伴うとよたおいでんバスの減便について</p> <p>4 連絡事項</p> <p>・次回会議の開催予定について 令和4年12月中旬</p> <p>5 閉会</p>
日 時	令和4年8月22日（月） 午後2時30分～午後4時30分
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 南51会議室

<p>出席者 (敬称略)</p>	<p>【委員】 松本 幸正 (名城大学)  山岡 俊一 (豊田工業高等専門学校)  泉田 一壽 (国土交通省中部地方整備局) (代理 白川)  山内 三奈 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局) (代理 本田)  大林 益英 (愛知県都市・交通局交通対策課) (代理 江崎)  伊與田正康 (愛知県豊田加茂建設事務所維持管理課)  田中 斉 (愛知県豊田加茂建設事務所足助支所管理課)  三浦 貴大 (愛知県警察足助警察署交通課)  高井 嘉親 (豊田市 副市長)  阿久津正典 (豊田市都市整備部)  中田 繁美 (社会福祉法人豊田市社会福祉協議会)  杉本 幹雄 (豊田市高齢者クラブ連合会)  釘宮 順子 (豊田市ボランティア連絡協議会)  國枝 和行 (豊田市 PTA 連絡協議会)  吉村 一孝 (豊田商工会議所)  大竹 宏 (愛知県タクシー協会)  小林 裕之 (公益社団法人 愛知県バス協会) (代理 徳田)  毛利 康浩 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会) (代理 大橋)  川本 晃平 (名古屋鉄道株式会社) (代理 内藤)  大野 淳 (名鉄バス株式会社)  横田 太 (豊栄交通株式会社)  寺澤 秀樹 (愛知環状鉄道株式会社)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部 交通政策課</p>
<p>資料</p>	<p>1. 次第  2. 令和4年度 第2回 豊田市公共交通会議 会議資料</p>

【協議案件】

(1) とよたおいでんバスのバス停移設及び路線の新設・廃止について

○事務局 【協議1】に基づき説明。

○委員 病院の利用者にはどのように周知するのか。

○事務局 バス停やみちナビとよたで周知をすることを予定している。

○座長 バス停移設予定日が令和4年11月1日(火)とあるが、変更する予定はないか。

○事務局 10月中に工事が終わると聞いており、少し余裕をもって11月1日に移設する予定としたため、変更する可能性は低いと思われる。

<協議結果：全員承認>

(2) とよたおいでんバス 期間限定系統の新設等について

○事務局 【協議2】【報告1】に基づき説明。

○委員 昨年度の結果をみると、稲武・足助線と旭・足助線が令和元年度と比較し、2時間以上の遅延短縮が図られていることから、足助から足助病院までの区間を通過するのに

2時間以上かかっているということがいえる。それにも関わらず、なぜさなげ・足助線の上り便は、区間短縮を行わず百年草から出発するのか。

○事務局 さなげ・足助線についても、足助病院や足助大橋を起終点にするという考えもあったが、香嵐溪のライトアップを見終わってから帰られるお客様の時間が集中するため、バスを待つお客様が溢れないほどの広い待機場所を確保できないことから、本対応となっている。香嵐溪バス停付近に十王寺という寺があり、おいでんバス、名鉄バス共に、その境内をお客様の待機場所として使用させていただいている。追従便を運行させることで、できる限りお客様にご不便をかけないように運行することを心がけている。

○委員 さなげ・足助線の上り便の始めの方のバス停で遅延が発生することで、その先で待っている方にも影響が及ぶことから、可能であるならば、稲武・足助線や旭・足助線のように渋滞する箇所に入らないように対策していただきたい。お客様への案内については、バス停まで歩かせてしまうものの、その分早く帰ることができるのであれば理解も得やすいのではないかと。

○委員 コロナ禍前の印象にはなるが、観光バスが通行する足助病院から宮町駐車場へ向かう道は渋滞せずスムーズに流れている印象があった。駐車場の中を通行することで、より運行時間の短縮が図れたのではないかと思うがいかがか。

○事務局 宮町駐車場の中を通るルートについては、以前名鉄バスや足助観光協会に相談し、検討したことがあるが、駐車場内を歩かれるお客様が多数いるため危険性が高いと判断し、実施を断念した。

○委員 【協議案件1】藤岡・豊田線（加納経由）、【協議案件2-1】さなげ・足助線については、国庫補助金の変更の手続きが必要となるため、適切に行っていただきたい。

○委員 昨年度の実施結果の「4 遅延状況」について、大幅に遅延が短縮されていることから様々な対策の効果があったかと思うが、コロナ禍前後での香嵐溪への来場者数に変化があったのであれば、そこも考慮したうえで考察する必要があるかと思うが、いかがか。

○事務局 「3 利用状況(3)」にコロナ禍前後の路線ごとの利用者数を記載している。また、香嵐溪への来場者数についても、コロナ禍前と同等であったと記憶しているが、詳細な数値を持ち合わせていない。

○座長 遅延の短縮時間は記載されているが、そもそもの遅延時間はどの程度であるのか。

○事務局 最大で3時間47分の遅延が発生している。

○座長 帰りの時間帯ではいかがか。

○事務局 最大で1時間54分の遅延が発生している。

○委員 時間に余裕のある高齢者は平日に動いている。平日の対応はどうなるのか。

○事務局 昨年度抽出した平日の1日のデータをみると、20分から40分程度の遅延とあり、土休日ほど大きな影響はない。

○座長 土日を避けて平日に来てもらうよう呼び掛けることも一つかと思う。また、今後観光地を盛り上げていくためには、公共交通機関でアクセスできる環境を整える必要があるが、今回の対応についてはその真逆に行っている。現状ではやむを得ないということではあるが、本来の対策を是非市、県、国と一緒に動いてもらいたい。公共交通でスムーズに香嵐溪への行き来ができ、車で個人で移動する方に多少我慢してもらおうようにするべきである。

○委員 TDM 施策について、チラシ配布は昔から行っていたと記憶しているが、変更点があ

れば教えてほしい。

- 事務局 ETC2.0 のデータから迂回路の利用率の低さが判明したため、それに基づいた周知ができるようチラシの改良を行った。もともと広域地図に様々な迂回路を示していたが、中金からの迂回路を写真を用いながら重点的に案内することにした。合わせて、迂回路動画の案内を行った。
- 委員 迂回路を走行することで時間短縮が図れることを具体的に示せば、より効果があると感じる。
- 委員 名鉄バス路線の予定としては、今年度についても根本的な渋滞対策を実施しないという話であるため、昨年同様、終点まで行かず手前の渋滞のない区間で打ち切りをする対応をせざるを得ない。香嵐溪に行くお客様だけでなく、途中バス停で待たれているお客様へ迷惑をかけることを最小限に留めたい。
- 委員 利用者の推移の話があったかと思うが、国道 153 号線沿いに足助トラカンという交通量を常時計っている機器があるため、そのデータを提供することは可能である。

<協議結果：全員承認>

#### 【報告案件】

##### (2) 藤岡地域バスのバス停移設について

○事務局 【報告 2】に基づき説明。

##### (3) 稲武地域バスの予約受付時間の変更について

○事務局 【報告 3】に基づき説明。

##### (4) 「(仮称) 豊田市地域公共交通計画」の策定について

○事務局 【報告 4】に基づき説明。

○委員 高校生の通学手段について検討していきたいという話があったが、パブコメで出てきた意見は、フィーダーで基幹路線に乗るための足を確保したいという話か。また、路線があったとしても、通学に対応したダイヤであるかどうかの問題もある。サイクルアンドライドなど、バス停付近に駐輪場を整備したりしていかないときりがないように思う。

○事務局 基幹バスが通学に対応しているという意見もあれば、学校まで直接行けるような形でバスを通してほしいという意見もあった。現在高校通学については基幹交通でまかなっているので、個別の対応については、フィーダーでカバーできるような仕組みを考えており、それが地域バスの仕組みなのか、自助の部分なのか、地域によって事情がまちまちであるため、計画での表現の仕方については、これから検討したいと思っている。そうした視点が抜けていると感じるため、記載できるように検討したい。

○委員 パブリックコメントの集計内訳にある E モニターは、どのような方か。

○事務局 市内に在住・在勤・在学の 18 歳以上の方が対象であり、本人が申請をし登録するものである。総数は 200 人程度であったと記憶している。様々なアンケートを取る際に活用している。

○委員 今回 E モニターで回答している 55 人の方の年齢層の内訳は把握しているか。

○事務局 40 代、50 代の方から多く回答をいただいている。インターネットを使用するため、

高齢者の方よりは、比較的若い世代の声が拾えているのではないかと思う。

- 委員 高校生の子どもがいる方もいると思うため、自分のことと家族のことであらゆる意見を拾えているように感じた。
- 委員 今後の対応についての確認だが、寄せられた意見は、計画素案に反映した上で、令和4年10月末に新計画を施行すると記載があるが、事前に公共交通会議には諮られないのか。
- 事務局 公共交通会議は12月の開催になるため、出来上がった段階で、協議というよりこういう形になったという報告を書面等とする予定である。
- 座長 公共交通計画は、協議会が策定する訳ではなかったか。
- 委員 協議会で策定することになっている。
- 座長 最後に協議会で書面でも構わないので、承認してもらおうプロセスがあった方がよいのではないか。事務局で検証してもらいたい。
- 事務局 書面で協議させてもらう。

(5) 豊田市駅東口駅前広場実証実験について

- 事務局 【報告5】に基づき説明。
- 委員 混み合う時間帯に案内スタッフを立てたりするのか。
- 事務局 実証実験期間中は、バス案内のスタッフを立てるほか、乗り場案内を設置し、混乱がおきないようにするつもりである。
- 委員 西口について、けやき通りに一か所降り場を設定すると思うが、その位置からだとペDESTリアンデッキ下の仮設乗降場の状況が見えないかと思う。けやき通り沿いで待機している車両の案内をする予定はあるか。
- 事務局 バスの運行事業者と現地立ち合いをした結果、決まった便のみをけやき通りの降り場で下ろすことを予定している。
- 座長 西口のタクシー乗り場は現行の位置から少し離れることになるのか。
- 事務局 仮設西口降り場とあるところに、元々のタクシー乗り場があり、バスを集約することに伴って、少し新豊田駅に近い辺りにタクシー乗り場を設置することになる。
- 座長 これまでの東口と西口のタクシーの利用割合はどの程度であるのか。
- 事務局 東口の利用が多いが、西口も夜間はお客様が並んでいる。
- 座長 周知は行っていただけるのか。
- 事務局 タクシーのお客様についても案内スタッフから声掛けをしたいと考えている。
- 座長 9月24日から30日の間にイベントは予定されていないか。
- 事務局 グランパスの試合等の大規模イベントの実施は予定されていない。

(6) 新型コロナウイルス感染拡大に伴うとよたおいでんバスの減便について

- 事務局 【報告6】に基づき説明。

以上